

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	理念の共有と実践が不十分	理念に基づいた目標設定や行動指針の作成と実施	年度、月ごとのサービス目標と行動指針を作成し全職員で実施していく	6 か月	会議室に理念を掲示し定期的に理念の説明、唱和を行い理解を深めている
2	2	事業所と地域のより深い関係作り	地域に向けた認知症の理解や啓発の為の取組を行う	引き続き地域での介護予防教室を行うと共にキャラバンメイト養成研修への参加を検討	12 か月	地域老人会と次年度の取組について協議中
3	4	運営推進会議の家族参加が少ない	毎回、家族に参加していただく	開催日時の検討。行事や食事会との同日開催により参加の機会を増やす	6 か月	開催日時の検討中
4	6	やむを得ず身体拘束を行う際の家族の同意は得ているが同意書が作成されていないケースがある	文書により同意を得た上で職員へ身体拘束排除の取組を行っていく	身体拘束同意書を作成した上で定例会等で解消に向けた話し合いを行っていく。また社内研修だけでなく外部研修にも参加し事業所全体の身体拘束排除への意識を高めていく	12 か月	同意書が無かったケースにおいては同意書での承諾済み
5	8	権利擁護に関してもっと職員の理解を深める必要がある	基本的な制度内容にみならず、職員全員がより具体的に制度を理解する	外部研修への参加、専門講師による内部研修の実施検討	12 か月	
6	10	運営に関する利用者、家族等の意見をより反映させる取組	介護相談員の活用及び家族からの意見提供を増やす	介護相談員の来訪日を家族へもお知らせすると共に介護相談員の運営推進会議への参加を依頼する。家族への情報提供の機会を増やす(定期連絡、施設便りの活用)	6 か月	介護相談員来訪日が告知されたポスターを玄関に掲示
7	25	利用者一人ひとりの思いや意向をよりサービス内容に反映させる必要がある	センター方式の一部を活用する事で、より深く利用者の思いを汲み取っていく	御家族の協力を得ながら本人の希望や思いを調査確認する	6 か月	
8	28	チームで作る介護計画とモニタリング実施で介護職員が今以上にスキルアップする必要がある	今以上に介護職員も計画の作成とモニタリングに関する理解を深めチームでのケアを行えるようにする	サービス担当者会議や毎月の定例会議で計画の作成、見直しやモニタリングを行う際に、計画書を参照しながら意見交換を行う。さらに計画作成業務の一部を担当させる。	12 か月	
9	32	病院受診、健康状態など医療関連の家族への情報提供	常に利用者の健康状態、病状、治療状況等を家族にお知らせする	面会時や電話連絡の際に支援経過を用いて定期的に詳しく状況報告を行う	1 か月	
10	35	ターミナルケアへの取組	ターミナルケアへの職員の理解を深める	社内研修で重度化対応及び看取りに関する研修を行う	12 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	○ ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		②利用者へサービス評価について説明した
		③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		⑤その他()
2	自己評価の実施	○ ①自己評価を職員全員が実施した
		②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	○ ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		○ ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		○ ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		⑤その他()
5	サービス評価の活用	○ ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		⑤その他()